こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 26 年 3 月 17 日（月）
成果報告会に行ってきました 編

昨年度までの 3 年間，支援をいただいた（財）国土計画協会（旧・高速道路交流推進財団）の「観光資源活用トータルプラン」活動実績報告会に行ってきました。初年度の視察にも参加され，財団の誰よりも NW と能代の現状を理解し，支援して下さった事務局の田中武昭さんから2度もお声がけいただいたのに，年度末だから・・・とお断りはできません。

こんなに気楽にここを歩くのは 4 度目の今回が初めてだなあと思いながら，冬景色の能代とは対照的に春めいてきた皇居そば，半蔵門駅から会場に向いました。

今回報告されたのは，①NPO 法人越後妻有里山協働機構。上小阿仁村でも取り組みが始まりましたが，里山の風景や空き家・廃校など地域の潜在的資源を利用しながらアート（大地の芸術祭）で地域活性化をはかろうという活動です。既に全国的に有名なイベントになっていますが，年々参加集落と作品数が増え，2012 年には約 50 万人の来訪があったとか。予算規模も億単位と聞き，驚きました。

②出雲商工会のプランは「出雲の聖地 スピリチュアル・スポットを巡る旅」。出雲大社の大遷宮もあって，今年度の入込客数は 804 万人だそうです。滞在時間を延ばすための戦略，おもてなし協議会の設立，スマホを使った観光ナビなど，能代でもできそうな参考になることがたくさんありました。「色々な補助金を取りにいっています。私たち商工会は商いにつながるよう，先手先手で考えていかなければいけません」という事務局長の宮本さんのお話が印象的でした。

③若狭・中丹広域観光誘客協議会は舞鶴若狭自動車道が通る京都府と福井県の 5 市 2 町（福知山市・綾部市・舞鶴市・高浜町・おおい町・小浜市）が連携して観光モデル事業を成功させ，地域の知名度をあげる取り組みを行っていました。市や町の観光課や観光協会の若い担当の方々が毎月 1 度集まって，ワイワイと楽しく取り組んだというだけあって，お祭りの体験観光化やお菓子やおでん，舞鶴かに・若狭ふぐといった「ハレ」の日の文化の商品化は，どれも地域いち押しのものだけに，とても魅力的でした。

どの報告にも取り組みの工夫や知恵があり，今回も大変，勉強になりました。財団では今後，受賞団体の継続的な交流の場を設けていきたいと考えておられるとか。各地個別の知恵がみんなの知恵となるよう，是非，実現してほしいですし，NW の活動主体となる方や役所の若い方が行きやすくなると有り難いと感じました。

文： 渡辺 千明

制限時間と委員の先生方からの質問がないと思うと，気楽に，でも集中して各報告を聞くことができました。越後妻有の事業規模はケタ違い過ぎて，同じ支援を受けた団体とは思えませんでした。

出雲商工会・宮本さんの報告は，課題と成果・効果が明快。30 年かけて衰退した商店街がここ 7 年で 41 店も出店したとか。大遷宮以降の取り組みにも注目していきたいですね。

事務局それぞれがご当地の半被を着て登場。全員参加で団結や楽しそうな雰囲気が伝わります。漁師さんや時間までがわかるタグ付きの朝どり舞鶴かに。ハレの日のための商品化へのこだわりは見習うこと多しです。

交流会では毎回たくさんのお料理がでるのですが，名刺交換や談笑に忙しく，なかなかお箸が進みません。この日は，木材利用に興味を持って下さった京都府和束町（高級茶葉の産地）の方とご縁ができました。

2009 NOSHIRO SHIRAKAMI NW. all rights reserved